

優良賞

本当の強さ



つがる市立木造中学校 3年 山崎 珠々

勉強に部活に友達。楽しいことがたくさんの中学生。でも、つらいこともたくさんある悩み多い中学生。

みなさんは、今悩みがありますか。これから私の実体験から悩みの対処法についてお話します。

私はソフトボール部に所属しています。ポジションはピッチャーでした。練習がきつく感じる時もありますが、先輩・後輩の仲も良く楽しい部活です。

中体連。1年生、地区大会優勝。2年生、地区大会優勝と先輩たちは素晴らしい成績を残していました。

そして、今年行われた中体連地区大会でも優勝し、3連覇を果たすことができました。グローブもバットも触ったことのない全くの初心者だった私が試合に出られるまで上達し、更にチームを引っ張っていくまでに成長できたのもたくさんの支えがあってこそ。県大会では、これまで支えて下さった方々への感謝を「勝利」という形で恩返しできるように一層頑張ろうと心に決めました。

いよいよ県大会まで1週間、大会前最後の練習試合。この日、私は最後まで試合に出ることができませんでした。1ヶ月程前からあった体の違和感がはっきりとした痛みになり、プレーが続けられない状態になってしまったのです。そう、私は体の痛みについて悩んでいました。原因は疲労によるものだと分かっていたのですが、部員が12人でギリギリだったのでずっと隠してきました。湿布を貼ったり整骨院に行ったりとできるだけのことにはしていたつもりでした。でも、最後の最後に…。私の胸は悔しさでいっぱいでした。もう試合には出られないのか？もし隠さずに打ち明けていたら何か違ったのか？自分だけ甘えてはいられない。あと1週間の我慢だったのに…。練習に参加できないまま、時間だけが過ぎていきました。

県大会に出発するその日の朝、私は3年間練習してきたホームグラウンドでピッチングを始めました。今できることをやるしかない、意地でも試合に出ようと決心したのです。それを後押ししてくれたのは部活の仲間でした。私の他に3年生は2人だけ。落ち込んだ私に何度も「大丈夫？」と声をかけてくれました。そんな仲間がいたから私は再び前を向くことができました。そして、痛み止めを飲みながらの登板となりましたが、県大会ではベスト8という結果を残して引退することができたのです。

このように私は悩みを解決することができました。しかし、「みんながみんな悩みを解決できる訳ではない。」と言う人もいるでしょう。では、乗り越えられない人はそれで終わりでしょうか。いいえ、違います。1人で考えているから悩みを解決できないのです。自分の力を信じるのも大事ですが、私たちの周りには先生や家族がいて「仲間」がいます。「友情は喜びを2倍にし、悲しみを半分にする。」といいます。悩みと向き合う時、仲間は心強い味方だと思いませんか。仲間の存在は自分を強くします。

最後に…

『今、1人で悩んでいるあなたへ

悩んでいるということはそれだけ一生懸命ということ。1人じゃないことを忘れないで、困難にぶつかっても逃げず乗り越えていきましょう。それが本当の強さだと私は思います。』